

## 人として自立し、他者と共生していくための資質と能力を養う。

社会や文化を理解するための基盤となる「国語」を学び、自己表現を豊かにする言語能力を伸ばします。自らの言語によって表現できる実践的な言語運用能力を身に付け、「国語」の授業力を養います。教科としての「国語」を担うための教材研究能力・教材開発力を養います。

詳細はコチラ



### [ 4年間の学び ]

国語専修での学びは、国語教育学・国語学・国文学・漢文学・書写書道の各部門から成る学習領域の、全5領域で構成されています。1、2年次は、諸領域への入門となる科目をはじめ、基盤となる教養科目、また、主に小学校の教員になるために必要な全科目の素養などを広く身に付けます。学年を追うごとに、中学校の教員になるために必要な科目を履修するとともに、上記5領域の基礎的な科目から発展的な科目へと学習を進めます。発展的な科目については、2年次以降、各領域への関心に応じて、自らの専門性を高めるためにふさわしい科目を選んで履修します。また、2年次後半からは、研究すべきテーマをもって各領域の研究室に所属し、体系的な学習と並行して自らの研究を深めつつ、4年次には集大成としての卒業論文をまとめます。

### 取得できる免許

**【卒業要件に含める免許状】**  
小学校教諭一種免許状  
中学校教諭二種免許状（国語）

**【取得を優先して薦める免許状】**  
中学校教諭一種免許状（国語）

**【所定の科目履修で取得可能とする免許状】**  
高等学校教諭一種免許状（国語）  
高等学校教諭一種免許状（書道）  
◎幼稚園教諭二種免許状  
◎特別支援学校教諭二種免許状

◎の免許状は、いずれか1つを選択し取得を目指すことが可能です。



国語科教育模擬授業風景



国語科教育における教材研究



書道演習授業風景

## 先輩 Voice

学校教員養成課程 義務教育専攻 国語専修4年  
愛知県立横須賀高等学校出身



### 国語の「読む・書く・話す力」を 他教科とつなげて広げる学び 心を豊かにする授業を目指して

国語の学習で子どもたちが身につけていく「読む力」「書く力」「話す力」は、他教科の学習の中でも必要であり、国語の重要性を再認識する機会にもなっています。私は、どのような発問をすれば子どもたちの考えが深まっていくのかを常に考え、将来行う授業実践に生かせるような「授業の引き出し」を増やすことを意識して学んでいます。国語は子どもたちの「生きる力」を育む基盤となる教科であり、心を豊かにする教科だと実感しています。国語の魅力を最大限伝え、新しい価値観に触れあう楽しさを子どもたちに感じてもらえる授業を目指したいです。

### ■ 私の時間割（2年生後期）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
1時限	初等社会科教育法A			中等国語科教育法CⅠ	学校教育におけるICT活用
2時限	初等音楽科教育法A				国文学講義AⅠ
3時限			この時間を使って「学校体験活動Ⅰ」の事後指導やガイダンスを行うことがあります。	書道演習Ⅲ	漢文学B
4時限		道德教育の理論と方法		国文学演習BⅠ	国語学概説AⅠ
5時限	キャリアデザインⅡ				

\*上記時間割で示した授業科目以外に2年次前期の必須科目として遠隔方式（オンデマンド型）で実施される「発達障害のある児童生徒理解基礎」や「外国人児童生徒支援教育」があります。